

## はじめに

近年、少子化、核家族化などの進行により、子どもの体験の不足や地域住民との交流機会の減少が指摘されております。

こうした中、子どもたちが心身ともに健やかに成長するためには、学校・家庭・地域が一体となり、社会全体で積極的に子どもの成長を見守り、育み、支えていくことが重要であります。

すべての子どもたちを対象に、安全・安心な放課後の居場所づくりを目的とした放課後子ども教室推進事業は、平成 19 年度の開始から6年が経過しました。広島県内では、平成 19 年度の 97 教室から始まり、平成 24 年度には、163 教室が開催されております。

各教室においては、放課後子ども教室の活動を支える関係者の皆様の御尽力により、地域の実情に応じた様々な活動が行われ、子どもたちの成長を育む放課後の居場所として、地域の中で、着実に定着をしてきております。

一方で、「活動がマンネリ化してきた」「新たな人材の確保が難しい」など、関係者の皆様からの課題もお聞きしております。

そこで、県内の放課後子ども教室の活動がますます充実し、子どもたちにとって、さらに心身ともに健やかに成長する場となることを願って、本ガイドブックを作成しました。本ガイドブックでは、県内の教室での具体的な取組や教室運営に参考となる資料をまとめております。

現在、放課後子ども教室を開催している関係者の皆様の参考資料として、御活用いただき、抱えておられる課題解決のヒントになれば幸いです。

また、今後、教室を新たに開催される際などに、御活用ください。

最後になりましたが、本ガイドブックの作成に当たって、御協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

平成 25 年 3 月

広島県教育委員会